

ふれあい



一関市室根市民センターだより



むろね七夕まつり 大盛況

7月6日(土)室根町折壁地内に
おいて、『むろね七夕まつり』が開
催されました。旧公会堂跡地に設
営された会場や折壁商店街沿い
には色とりどりの吹き流しが並
び、来場者の目を楽しませていま
した。心配された天気も夕方から
回復し、当日は約700人が来場しま
した。会場では多くの皆さんが特
設ステージでのライブ演奏や、各
テントで販売される食べ物など、
まつりならではの雰囲気を楽し
んでいます。

室根町史談会 移動研修 大自然と歴史に触れる旅

室根町史談会と室根市民センターでは、6月24日(月)に大崎
市岩出山町と栗原市を中心とした文化史講座移動研修を共同主
催で行いました。当日はあいにくの雨模様となりましたが、30
名の参加者は、岩出山町の「昭和のレトロ館」や、大崎市の「一
迫ゆり園」、「栗駒山麓ジオパーク」を見学しました。
「昭和のレトロ館」では、昭和10年
に建てられた建物や、昭和の時代に使
われた道具を懐かしく見学しました。
「一迫ゆり園」では、春先の天候不
順の影響のため百合の花の開花が少
し遅れているとの事でしたが、参加者
の皆さんは「雨に濡れた百合の花も風
情が増す。」と言いつながら熱心に鑑賞
していました。



陶芸教室スタート!

一関市室根市民センターでは、毎年恒例の成人教育事
業である陶芸教室が始まりました。第一回目となる6月
11日(火)には、一関市滝沢にある「陶工房陣の里」で作
品作りについて教えていただきました。当日は13名が参
加し、ろくろを使つての手びねりの他、異なる色の粘土
を埋め込んで模様にする方法などを学び、参加者は皆、
自由な発想で作品作りに取り組んでいました。
午後は、一関市博物館
を訪れ、日本画家「佐藤紫
煙」の企画展を鑑賞しま
した。普段あまり身近で
見ることのない作品を見
ることができ、参加者は
興味深そうに鑑賞してい
ました。



川柳

～ 内田 正好 選 ～

爽快に菜園巡る朝一番
人生に明るく笑い永らえる
朝乃山夢頂点にトランプ杯
津谷川 三浦 安幸

よう咲いた桜に名残りの山つつじ
休農地下刈代を皮算用
津谷川 菊地 嶺峰

議員様口は災いの元職無くす
運転士スマホ見るより前を見て
庭先にニホンカモシカ仁王立ち
折壁 ゆつきー

仁の道一人始めて大きな輪
はたらく
傍楽と周りの家族楽になり
農業は土を愛してする苦労
矢越 加藤 光春

読む人もいない日記を書き続け
いつか子に頼る頭で無理を聞く
さよならがまだ言えなくて医者へ行く
折壁 大正 十四生

昭和の世小三生よりわらび採り
国民学校天気良ければ大森山行き
ひこばえの森と名付けて三十五
矢越 小野寺 喜二郎

《選者詠》
傘の波撤回しりとドツと寄せ

室根市民センターへ ようこそ!

7月2日・3日・4日の3日間に
亘り、室根中学校2年生の渡邊莉央
さんが一関市室根市民センターに
職場体験に来ました。渡邊さん
は、最初に市民センターの仕事や、
室根まちづくり協議会について学
んでもらい、その後、七夕まつりの
準備や管理施設の掃除などを手伝
ってもらいました。

職場体験を終え、渡邊さんは「室
根市民センターや室根まちづくり
協議会が、イベントや、様々な事業
を通して室根の地域を支えている
ことがわかった。これからも頑張っ
て町の支えになってほしい。」と語
りました。
渡邊さん、3日間いろいろ手伝っ
てくれてありがとうございました。
またいつ
でも、市民
センターに
遊びに来て
下さいね!



行事予定

月日	行事内容	場所	時間	
7月	19(金)	イブニングヨガ教室	室根体育館	19:00~20:30
	21(日)	第29回室根自治会対抗ゲートボール大会	屋内テニス場	9:00~
	28(日)	第57回むろね夏まつり	室根支所北側駐車場	
8月	1(木)	第12回一関市長杯一関・両磐 グラウンド・ゴルフ交流大会	室根野球場	8:00~
	3(土)	子ども土曜塾 移動研修	気仙沼市	9:00~
	7(水)	子ども土曜塾 星空観察会	室根市民センター	18:00~
	9(金)	室愉会『金曜夜のミニシアター 第1弾』	旧津谷川小学校	18:00~
	10(土)	子ども土曜塾 「流しそうめんをしよう!」	室根市民センター	10:00~

※「健康増進グループ」の行事予定につきましては、『室根まちづくり協議会ニュース』に記載しています。

編集/発行：一関市室根市民センター
〒029-1201
岩手県一関市室根町折壁字大里 201-1
TEL. 0191-64-2347
FAX. 0191-64-3044
E-mail: mmachikyo-kt@tiara.ocn.ne.jp

【編集後記】
7月に入り、七夕まつりや夏まつりなど、夏ならではのイベントが増えてきましたね。子ども達が夏休みに入ってから、室愉会の野外シアターや、子ども土曜塾の夏恒例イベントなども予定されています。自分が子どものころは、夏!長期休み!というだけで、もう無条件でワクワクしていた記憶があるので、今、同じようにワクワクしている様子の子ども達を見ると、少し羨ましくも微笑ましい気持ちになります。それぞれの夏イベントが良い思い出になるように、私も楽しんで頑張りたいと思います! (T.K)

1区・12区



6月9日(日)に1区女性学級、6月17日(月)には12区女性学級が宮城県女川町において移動研修を行いました。研修先のシーパルピア女川では、被災から復興のこれまでに「見学し、また、12区は施設内にあるスペイントイルの工房で絵付け体験に挑戦しました。1区は、昼食後、南三陸町に移動し、平成29年に仮設店舗から本設でのオープンとなったさんさん商店街を見学しました。



1区、12区とも、当時の様子や現在の街並みを見て震災から8年の今を感じられる移動研修となりました。

13区

当日は15名が参加し、震災後仙台北港背後地に建てられ、耐震性能を確保した水族館の中を巡りながら、被災地の今を学びました。

また、笹かま館では工場見学に参加し、触って楽しめるアニメーションや実際の工場内の様子を見せてもらう事で、かまぼこができるまでの様々な工夫や配慮を学びました。

6月18日(火)13区女性学級では宮城県仙台北港へ移動研修を行いました。

研修先では「被災地の復興と今を学ぶ」をテーマに、「仙台北港の杜水族館」「鐘崎笹かま館」など、主に仙台北港周辺を見学しました。



女性学級 教室&移動研修

3区



6月9日(日)3区女性学級では秋田県横手市増田町にて移動研修を行いました。

増田町は、商人の町として栄え、明治・大正・昭和の歴史ある建物と内蔵が今でも生活の中で使われている「蔵の町」として有名です。当日は16名が参加し、皆さん、ガイドの説明を熱心に聴きながら、蔵の町と朝市を見学して興味を深めていました。

昼食には、旧酒造店で国登録有形文化財となっている「旬彩みそ茶屋くらを」で、麴を使った発酵食品中心のランチを美味しく頂きました。最後には秋田県立近代美術館で、企画展「岩合光昭の「世界ネコ歩き」」を鑑賞し、有意義な一日となりました。

4区



4区女性学級では、6月17日(月)に奥州園さんを講師にお迎えして、ハンギングバスケットの寄せ植え教室を行いました。

当日は、15名が参加し、最初に講師の先生から花の説明が行われました。日向向き、日陰向きの品種があり、用意された25種類のなかから8本ほどを選んで植えていきました。今回は、鉢状のヤシ製シートに植える、ワンランクアップの寄せ植えに挑戦しました。切れ込みから花の根を入れ込むことに苦戦する方もいましたが、その都度教えていただき、思い思いの綺麗な寄せ植えが出来上がりました。

6月23日(日)室根市民センター事業青年ふれあい塾では、道の駅むろねを会場にチャリティーバザーを行いました。当日は、室根地域内外からたくさんの方が訪れ、チャリティーにご協力いただきました。また、高校生ボランティアの皆さんには準備や接客のお手伝いをしていただき、楽しい雰囲気の中でバザーを行うことが出来ました。

地域の皆様には、寝具や衣料品、生活雑貨など数多くのバザー品を提供していただき、今回の収益は5万7810円となりました。今後、青年ふれあい塾の福祉事業に大切に使用させていただきます。ご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。



青年ふれあい塾 チャリティーバザー大成功

6月23日(日)室根市民センター事業青年ふれあい塾では、道の駅むろねを会場にチャリティーバザーを行いました。当日は、室根地域内外からたくさんの方が訪れ、チャリティーにご協力いただきました。また、高校生ボランティアの皆さんには準備や接客のお手伝いをしていただき、楽しい雰囲気の中でバザーを行うことが出来ました。

地域の皆様には、寝具や衣料品、生活雑貨など数多くのバザー品を提供していただき、今回の収益は5万7810円となりました。今後、青年ふれあい塾の福祉事業に大切に使用させていただきます。ご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

短歌

～佐藤 知男 選～

少しでも役に立てばの思いから

食後に器置き置きぬ

又一つ星の消えゆく悲しみに

御魂の安らぎひたすら祈る

草を刈りいつものように室根山

故郷の山よ俺を見守れ

震災の爪痕残る被災地に

これから先の復興祈る

端午には菖蒲蓬を屋根に挿す

想い出浮かぶ茅葺きの屋根

つつじには陸奥観光室根山

つづく津谷川大森の山

真夏日の陽は山の端に昇りきて

朝露重し雑草とたわむる

石楠花を一枝飾りて卓袱台に

今日も一人のお茶をいただく

忽ちに青田となれば思い出す

結いで手植えの苦勞の昔

枝々に絡みて咲きし藤の花

我が身装い大木枯らす

朝風呂に春蟬の声聞こえくる

駒ヶ岳は晴れ渡りける

庭先の木々の梢を白き蝶

乱舞するなり落花のように

《選者詠》

乳のごと濃き朝の山里に

菩提寺の鐘湿り渡りぬ

谷に沿ふ温泉宿の露天湯に

蝦夷春蟬の時雨降り来る

俳句

～村上 群青 選～

花筏一縷の願いそつと乗せ

髪を切り卒業式に好きでした

春の宵徳利片手の呑気かな

矢越 加藤 光春

顔を打つ雨ばらばらと梅雨の入

汗を拭く父の好物冷やっこ

皆の寄る白紫や鉄線花

折壁 小林 和

三陸の鉄路続くや夏の旅

段々の青田にそよ風青し

遠く住む吾子の見立てし夏帽子

折壁 佐藤 川古

木陰より刈られし草の匂いかな

夏燕翼せわしく過ぎ行けり

春蟬の山が泡立つほど鳴けり

折壁 雷 風

里山に明媚燦々栗の花

大輪の花を寄せ合い牡丹咲く

庭先に一叢そよぐ罌粟の花

津谷川 三浦 安幸

《選者詠》

佳きことの無き日も分かつ冷奴